

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスセンターあいる			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 15日		～	令和7年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数)	19人
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 15日		～	令和7年 12月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イレギュラーな利用希望にも柔軟に対応する	保護者さまからのご連絡後、対応可能かどうかを管理者以外も把握できるようにしている	毎週お子さまのお休み、ご利用状況を指導員と細かく確認していく
2	お子さま1人1人に合った支援の提供	指導員と月1回のミーティングを行い、日々のミーティングでもお子さま1人1人の支援を確認している	お子さまにつく担当指導員がひとつの活動を通して支援に入れるよう調整している
3	定期的に面談を行っている	年度末に手紙を配布し、面談でお家での様子、困りごと、目標など話す機会を設けている	面談時に話したことを記録し他の指導員が閲覧できるように整理している

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	前年度よりも各種取り組み、避難訓練、委員会等に対する周知ができていないが、まだ保護者様のご意見の中にわからないが見られた。	ホームページ等の周知が弱い。	保護者様に活動内容が周知できるようホームページのURLを毎月の予定表などにのせて。紹介をしていく。
2	保護者同士の交流の場が作れていない。	保護者会等を希望する人が少なく、保護者会に対するニーズが把握できていない。	保護者同士の交流に対するニーズを把握していく。交流希望者が参加できる行事等を検討していく。
3			